



ROTARY CLUB OF
NARA - WEST
DISTRICT WEEKLY BULLETIN
2650 No. 2411 2020. 12. 3

創 立 1969年(昭和44年)12月13日
例会日 毎週木曜日18:00より
事務所 〒630-8001 奈良市法華寺町254番地
例会場 奈良ロイヤルホテル内
TEL 0742-34-1131 FAX 0742-30-2000

2020～2021年度
国際ロータリーのテーマ



2020～2021年度
地区のスローガン

ロータリーの原点に戻る
誠意をもって語り合い、勇気をもって共に未来へ



国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

RI第2650地区ガバナー
松原 六郎

小松会員
バルセロナ 昨夏@妹と

加藤会員 妻と次女と一緒に
(通天閣・ビリケンさん前にて)

会 長 佃 尚彦	副 会 長 有馬 康明	会長エレクト 植野 洋志	直前会長 安井 清悟	幹 事 金田 宗寛
会 計 井上 直治	会場監督 相澤 万裕子	理 事 松山 悦啓	理 事 松中 隆	理 事 中井 肇一
理 事 川崎 祥記	会報委員長 竹田 知弘			

2020～2021年度 国際ロータリー第2650地区 松原 六郎ガバナー公式訪問特集



■ 公式訪問プログラム

15:30～16:30 奈良西RC会長・幹事・役員懇談会
16:40～17:40 平城京RC会長・幹事・役員懇談会
18:00～19:00 例会(ガバナーアドレス18:30～)

■ 同行者 ガバナー補佐 武藤 廣茂様

今月は、疾病予防と治療 月間です

第14回(2411回)例会プログラム令和2年12月3日(木)

1. 年次総会
2. 開会宣言 点鐘
3. ソング「君が代」「奉仕の理想」
4. 出席報告
5. 会長の時間・理事会報告
6. ニコニコ報告
7. 委員会報告
8. 幹事報告
9. 卓話:「会長ノミニー挨拶 及び
次年度理事役員の挨拶」
10. 閉会宣言 点鐘

第13回 (2410回) 例会報告 2020. 11. 19
ソング

「君が代」「奉仕の理想」

来訪者紹介

松原 六郎 様 第2650地区ガバナー
武藤 廣茂 様 第2650地区ガバナー補佐

出席報告

	会員数	出席計算 免除会員数	出席会員数	欠席者数	出席率
通 算 2410 回	43	5/11	32/32	0	100.0%
通算2408回修正	43	7/11	32/32	0	100.0%

幹事報告 (金田幹事)

- 1 例会変更情報は、おもての座席表と共に掲示しております。
また、ホームページの会員ページに掲載しておりますのでご覧下さい。
- 2 次週11月26日の例会は、定款細則8-1-Cにより、休会となっております。
皆様、お間違えの無き様、よろしくお願い致します。
- 3 来月12月3日は、理事会となっております。
17時より行いますので、各理事役員様、よろしくお願い致します。
また、年次総会となっております。
皆様出席のほど、よろしくお願い致します。
- 4 配布した週報の訂正事項をご報告致します。
来月12月3日の卓話は、会長ノミニー挨拶及び次年度理事役員の挨拶となります。
会長ノミニー及び次年度理事役員は、ご準備のほどよろしくお願い致します。

ニコニコ報告

佃尚彦会長

松原ガバナー、武藤ガバナー補佐、本日は
よろしくお願いします。平城京ロータリークラブ
のみなさま、よろしくお願いします。

林秀彦P会長

1. 松原六郎ガバナーご一行様をお迎えして、
ガバナーアドレスをよろしくお願いします。
2. 平城京ロータリークラブの皆様よろしくお
願いします。
3. 下村員が令和2年度納税表彰式で表彰を
受けられました。おめでとうございます。

松川信夫P会長、吉村信男P会長、谷垣嘉輝、
松山悦啓、植野洋志、金田宗寛、東山光秀、
榎木晋作、植野教夫、小松玲子、寺田信弘、
中井肇一、木村知弘会員

松原ガバナー、武藤ガバナー補佐、ようこそ
奈良西RC、平城京RC合同例会へ
本日よろしくお願い致します。
本日のガバナーアドレス、勉強させて頂き
ます。よろしくお願い致します。

安井清悟P会長

松原ガバナー、武藤ガバナー補佐、会長、
幹事、懇談会では色々ご指導いただき、
ありがとうございました。ガバナーアドレス
よろしくお願いします。

猪上正孝、福川益則会員

松原ガバナー、武藤ガバナー補佐、ようこそ
奈良西ロータリークラブへ
遅くなりましたが、家内の誕生日のお祝い、
ありがとうございました。

佐川寛一、下村由加里、松中隆、山川喜平、
岡崎義幸会員

松原ガバナー、武藤ガバナー補佐、本日は
よろしくお願い致します。平城京ロータリーの
皆様よろしくお願い致します。

粕谷康朋平城京RC会長

本日は奈良西ロータリークラブ佃会長始め
幹事さん、たいへんお世話をおかけします。
心より感謝申し上げます。
よろしくよろしくお願い致します。

松原六郎ガバナー様

武藤廣茂ガバナー補佐様



アメリカの大統領選挙もほぼ終わり史上最高齢の大統領になりました。私も82歳まで現役でいたいもんだと思いました。彼は吃音だったと聞いています。私と同じなので共感しています。私はかなりきつかったです。私は小学校1年の時、吃音の子をからかっていて天罰を受けました。真似してうつったのです。中学校に入るころには大体治っていたのですが完全に治ったのは40歳過ぎです。自信をつけることが治療だと言われました。喋れなくとも歌は歌えたので歌ってました。歌は腹筋です。持論です。

私はよくプロボクサーに腹筋にパンチをいれてもらっていました。ロータリで貰った赤いチャンチャンコと赤い帽子を着てプロボクサーにパンチを30発入れてもらいSNSにアップして喜んでました。

さて今日はガバナー訪問です。アドレスを楽しみにいたしましておわらせていただきます。以上で会長の時間を終わります。

奈良西RC通信17

奈良新聞 11月19日掲載

奈良西ロータリークラブバスト会長

安井 清悟さん (59)

当クラブでは毎年11月は忙しい月だ、月初めに全会員が集まり臨時総会を開く。議題は次々年度の会長を決めること。今年も5日の例会前に行われた。

ロータリーの会長は毎年変わる。2年前に選任された幾々年度の会長は、これまでクラブ運営を学び、自身の会長年度にどのようなクラブの運営をするかを考える。臨時総会では次々年度の会長を選挙方法として、全会員が投票する立候補による選挙方式が、指名委員会を設けて審議する方式が決議される。

月内に地区ガバナーが例会に訪問される。

クラブ会員の認識共有

臨時総会とクラブアッセンブリー

次々年度の会長を決める審議がされた臨時総会＝奈良市内

地区ガバナー訪問前に開かれたクラブアッセンブリー＝奈良市内

奈良西 55周年に向けて
ロータリークラブ 通信 17

第1回鷗尾の会 会長・幹事会



令和2年10月24日
万葉若草の宿 三笠にて

Rotary
Club of Nara-West

■ガバナーアドレス

国際ロータリー第2650地区 ガバナー

松原 六郎 様

RI会長ホルガー・クナーク氏の掲げたテーマは、「ロータリーは機会の扉を開く」です。ロータリーに参加すること、ロータリーが奉仕活動を行うことは、自分自身や多くの人々に未来へのチャンスをもたらす。そして、とくに若者の未来を広げるものだと言われました。もちろん、その根底にあるのは、ロータリーのビジョン声明です。「私たちは、世界で地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」地区といたしましても、皆様のクラブがビジョンの実現に向けて一歩でも歩みを進めて行っていただけるようあらゆるお手伝いをしたいと決意している次第です。



今年度地区スローガンを、「ロータリーの原点に戻る 誠意をもって語り合い、勇気をもってともに未来へ」とさせていただきます。私自身はこのスローガンをRIの変革の先にあるものと、皆様のクラブの独自性をどのように折り合いをつければ良いのか話し合っていたいただきたく掲げました。しかし、この世界的感染状況の中、否が応でも、我々の行為で、何が大切で、何が大切でないかを考えなければならなくなり、まさに「原点に返らざるを得ない」事態となってしまいました。

そこで、この事態に呼応すべく地区の3つの基本方針、9つの運営方針を見直し、ガバナー月信7月号に記載させていただきました。どうか、もう一度ご確認いただければ幸いです。

新たな基本方針をまとめて申し上げますと、

1、自らがウイルスに感染せず、人に感染させないことに最大限注意しながら、ご家族と、我々が生業を守る職業奉仕を全うする。つまり、ご自分とご家族、周囲の方々を守っていただきたいのです。そして、仲間を守っていただきたい。さらに、ローターアクター、インターアクター、各財団の奨学生を含め未来を担う全ての若者を守っていただきたいと存じます。

2、今一度ロータリーの原点に戻り、ロータリークラブ一つひとつ、ロータリアン一人ひとりと誠意をもって語りあう。大切なこと、良いことは皆で共有し、勇気をもって共に未来に向かって実践していく。この実践は間違いなく、感染拡大が収束した後に、間違いなくやってくる新しい時代に適応した大きな改革となることでしょう。

3、少しでも余力のあるロータリアン、ロータリークラブから、新型コロナウイルスや様々な災害によって被災した人々に寄り添い、勇気を取り戻すために社会奉仕活動を実践する。また、ポリオ根絶のための取り組みに挑戦する。つまり「地域を守る」社会奉仕の実践をお願いしたいと存じます。皆様のクラブや皆様ご自身が既に数多くの素晴らしい活動をされていることは既にお聞きしています。どうか、もう一つ、とくに子供達や若者に寄り添う奉仕をお考えいただきたいと存じます。

続く運営方針については、9項目のどれも欠かせないものでありますが、とくに、クラブで未来に向けた戦略会議を開いていただきたいと存じます。

また、財団などへの支援金については、将来のため、若者のために何とか確保していただきたいと考えています。具体的な目標額を申し上げますと、年次基金お一人180ドル、ポリオプラス30ドル、ほかに恒久基金、大口寄付などもございます。米山奨学金は24000円、ロータリー希望の風奨学金は5000円、ご無理を申し上げて誠に恐縮ですが、未来のため、若者たちのため、これらだけはどうしても守り抜くことをお願いしたいと存じます。各項目については、各地区委員会の委員の皆様が、厳しい状況下でも最善の努力を続けてくださっておりますので、それぞれが発する情報をお聞きいただき、

積極的に行動していただきたくお願い申し上げます。

そして、これらの行為は、ロータリー賞、ガバナー賞につながるものです。どうか、いずれも取得して、歩みを進める通過点の印として頂きたいと存じます。

私は自身のロータリーの原点に思いを巡らせている時でした。ある日、あるコラムに出会いました。1964年東京オリンピックが終わった日のことが書いてありました。書いたのはジム・ミューレという新聞記者でした。彼は取材が終わり、羽田空港から帰路に就く飛行機の中にいたのでしょう。

「サヨウナラ、日本

サヨウナラ……電光掲示板の文字が闇に浮かぶ……。

日本人にとって国を挙げての大事業は終わり、メダルは渡され、幕は下ろされた。

だが、雨宿りをしていたら、傘をさしかけてくれた少年。土砂降りの雨の中、自らレインコートを脱いで貸してくれた青年。チップを受け取らないタクシーの運転手。

笑顔のエレベーターガール。

……サヨウナラ、美しい親切な国、日本。

私は、この国全体に金メダルを贈りたい。」

(出典:シンプルグットバイ ジム・ミューレ 人づくり・ものづくり・夢づくり

前田又兵衛)

これからどんどん変化していくロータリーや地域社会の中にあっても、私はこのコラムに出てくるような日本人の一人のロータリアンとして居続けたいと思います。





ガバナー会長幹事役員懇談会



第15回（通算2412回）例会予告
例会日 令和2年12月10日（木）

第1回クラブフォーラム

（担当：竹田、オフィス）